

地域活動 レポート

令和8年8月
No.65

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



◆地域課からのお知らせ

■地域活動に”ちよいAI”くポスターづくり がもっとラクに

最近、「生成AI」という言葉をニュースで見ない日はないほど、AIは身近な存在になりました。「難しそう」と思われがちですが、地域活動でも「ちよつと便利」に使える場面が増えていきます。今回は地域活動をAIで「ほんの少し楽にする」方法をご紹介します。近年のAIの大きな特長は、これまでのコンピューター操作と異なり、「人間のふだんの言葉で指示できること」「イラストを自動で作れること」の2点です。

【一番簡単な活用例…行事ポスターづくり】

例えば、地域の「盆踊り」ポスターなら、次のように文章で頼むだけで作成できます。「何月何日、何時から、どこどこで実施する『盆踊り』のポスターを作って。中央に櫓があつて、みんなが浴衣で踊っているイラストを入れて。注意事項には『熱中症対策してください』と書いて。一番下に『主催団体…〇

〇地域活動協議会』と入れてください。」

このように文章で伝えるだけで、それらしいポスターやチラシ案ができあがります。気に入らなければ何回でも作り直せますし、「提灯を描き足して」など細部の修正も可能です。実際に、この夏の盆踊りポスターづくりですぐに活用している地域もあります。

【ポスター以外にも…資料整理や”一覧化”に強い】

もちろん、AIの使い道はポスター作成だけではなくありません。地域課でも、講座資料や会議録の整理に日々活用しています。また、17地域の年間事業計画をAIで整理し、「今日、どこで、どんな行事があるか」を一覧で確認できるようにしています。

ちよつとした工夫で、時短や負担軽減につながるAIを「便利な道具」として使いこなすために、9月には地域課で広報講座を予定しています。どうぞご期待ください。

■人口は横ばい、世帯は増加…国勢調査（速報値）から見える東淀川区の傾向（独自集計）

大阪市ホームページで「令和7年国勢調査速報集計結果―独自集計」が公表されました。本組み合わせ、レポートでは同データをもとに、過去の国勢調査と比較した人口・世帯数等の推移を整理しました。

区全体では人口は概ね横ばいの一方、世帯

数は増加が続いています。世帯当たり人口は平成12（2000）年の2.08人から令和7（2025）年には1.67人へ低下しており、人口の増減以上に小家族化（単身・夫婦のみ等）の進行がうかがえます。

また、区内でも人口・世帯数の動きや世帯当たり人口の水準には差があり、住宅更新や居住者の入れ替わり、世帯構成の違いなど複数要因が重なっている可能性があります。

地活協・町会運営では、これまでどおり多くの人が参加することを前提とした事業だけでなく、少人数世

